

第9回社会福祉法人おおすぎ実践報告会のご案内

平素より当法人の運営に多大なご協力とご理解を頂き誠に有難うございます。

さて、今年度も昨年度同様、同業の事業者・相談機関等を対象に個別ケースの実践を報告させていただきます。私どもが個別のケースを通して学んできたことを皆様と共有できればとの思い、また、皆様よりご指摘やご指導を仰ぎながらより良い支援を目指していければとの思いから企画致しました。未熟な報告になることをお許し頂きご参加願えましたら幸いです。

【報告内容】

◆三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ 堀木 裕介

「就労継続が困難となり、休職することになった男性に対する支援」

自閉的な特性がある30代の男性。強迫的な症状によって仕事や対人関係についての困難さが続き、二次障害として抑うつ状態になり一時休職を余儀なくされました。この方の復職に向けて取り組んだ支援について報告させていただきます。

◆城山れんげの里 施設入所支援 岡 伸晃

『「こいつは好みじゃない・・・」破損行為が多い利用者さんへの支援』

43歳男性。知的障害を伴う自閉症。衣類などの破損行為が多い方で、その中でも頻度が高いものがスリッパです。多い日は一日に何足も破ってしまう事も有りました。そんな中でどうしたら私物を大事に長く使ってもらえるのかを考え、色々な方法で支援させてもらったことを報告させていただきます。

◆れんげの里 施設入所支援 水谷 共志

「一人で帰省ができるまで」

40代男性。知的障害を伴う自閉症。家族の負担を軽減するために、一人で帰省する事を実践しました。初めての場所や慣れない人への緊張感が強く、自分から言葉を出せない本人に対し、分かりやすい手順やツールを使用し、好きな電車に乗って一人で帰省ができるように三重交通、近鉄の方々の協力を求めて実施してきた3年間の支援を報告させていただきます。

◆城山れんげの里 施設入所支援 吉田 玲

「彼の見ている世界」

重度の知的障害と、脳性麻痺による両下肢体幹機能障害がある28歳の男性。骨折を機に通い始めた病院で、本人から見た世界を知る機会がありました。何故日常的に服を噛むのか、大きな音を立てて歩くのか…。理由が分かれると、職員の気持ちに変化が生まれていきました。病院の作業療法士や家族と共に考え、協力して行なった支援について報告させていただきます。

【日 時】 2月3日（日） 13:00～16:00

【会 場】 城山れんげの里 地域支援棟研修室

※駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせの上、
お越し頂きますようお願いします。

【参加費】 無料

【主 催】 社会福祉法人おおすぎ

※問い合わせ先 城山れんげの里（井村・田畑） TEL：059-238-0001

【申込先】 城山れんげの里

※申し込みはFAX またはメールでお願いいたします。

※お申し込みの受理通知は行なっておりません。

定員を超えた場合のみ連絡をさせていただきますのでご了承ください。

FAX ：059-234-6144 eメール：shiroyamarenge@zb.ztv.ne.jp

参加申込書

第9回社会福祉法人おおすぎ実践報告会

平成 年 月 日

お名前	所属先及び住所	連絡先(電話等)	備 考
フリガナ	所属先 〒		
フリガナ	所属先 〒		
フリガナ	所属先 〒		

*お申込みは、1月27日（日）までをお願いします。